

平成30年度入学 推薦入試 試験問題の出典

総合政策学部

種別		著者名	著作物名	書名等	版元
小論文	課題文1	朝日新聞	(社説) 訪日観光 「体験」で 広く息長く	朝日新聞 2017年1月 24日朝刊	朝日新聞
	課題文2	河北新報	(社説) 訪日客の消費低下 地 方への誘客で乗り切れ	河北新報 2017年2月 19日朝刊	河北新報

※承諾番号「18-2983」

※試験問題について、朝日新聞社および朝日新聞出版に無断で転載することを禁じる

総合政策学部

小 論 文 (90分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、3ページあります。なお、下書き用紙が2枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 8 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

次の課題文1と課題文2を読み、あとの問いに答えなさい。

(課題文1)

2016年に日本を訪れた外国人旅行者は、前年より2割増え2400万人に達した。ただ、旅行で使った金額は、1人当たりの推計で見ると1割減った。為替の影響に加え、中国人らによる高額商品の「爆買い」が下火になったことが主な理由という。訪日観光は経済にプラスで、外国との関係を強める基盤にもなる。今後は一時の追い風に頼らず、リピーターを増やし、滞在を延ばす工夫が大切になる。

首都圏や関西圏でのホテル不足対策や、両者の名所を回る「ゴールデンルート」以外の観光コースの開拓といった課題に加え、訪日客の関心の多様化にもっと注目したい。

「次の訪日でやりたいこと」を尋ねた観光庁の調査では、日本食や名所めぐりといった定番メニューのほか、四季の体感、歴史・文化・農漁村の体験などを挙げる人が多い。目的が、買い物や見るだけの観光から体験に移る傾向が読み取れる。この流れを意識した試みは、既に各地で広がりつつある。

徳島県三好市の山奥にある落合集落では、古民家に泊まり、住民との郷土料理作りなどを体験できる。それを目当てに香港や欧米などから多くの人々が訪れている。佐賀県はタイ映画のロケを誘致し、タイ人旅行者の呼び込みに成功した。映画の「追体験」が売り物になった。東京や大阪では、日本発の人気ゲームキャラクターに扮してカートを街中で運転できるサービスが話題だ。日本人には意外と思えることにも、外国人が新鮮な魅力を感じ、ネットの口コミで広まる例は少なくない。まだまだ知恵を絞れるはずだ。体験型の観光を掘り起こすには、地域の自然や文化、産業に詳しい人を結びつけるかじ取り役が重要になる。各地の観光団体や自治体は、人材や組織の育成を積極的に進めてほしい。

国の役割は、地域の取り組みを後押しする環境整備だろう。ホテルやガイドの不足に対応するため、民家に旅行者を泊める「民泊」や通訳案内士の規制緩和が進みつつあるが、一方で質の確保にも目配りが必要だ。免税店で健康食品を不当な高値で売りつけるツアーなど、日本のイメージを損ねる例も見られる。政府は旅行関連サービスの手配業者に登録制を導入する方針だが、警察と連携した取り締まり強化や訪日客向けの相談窓口の整備も急ぐべきだ。

各地で知恵を競い合い、成功例に学びながら、日本ファンを増やしていく――。官と民、国と地方が力を合わせ、そんな好循環を広げていきたい。

(『朝日新聞』2017年1月24日朝刊、「(社説) 訪日観光 「体験」で広く息長く」より、一部改変)

(課題文2)

この部分の問題は、著作権の関係により公開できません

(『河北新報』2017年2月19日朝刊, 「(社説) 訪日客の消費低下 地方への誘客で乗り切れ」より, 一部
改変)

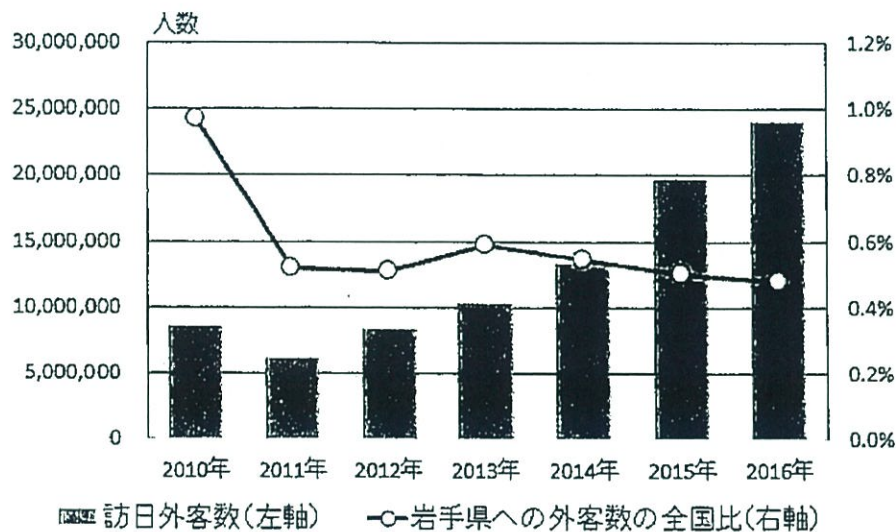
問1 課題文1で説明されている外国人観光客獲得のための課題や取り組みについて、課題文1の中で用いられている語を使って100字以内で述べなさい。

問2 課題文1では、「体験型の観光」の事例として、東京都や大阪府、徳島県三好市、佐賀県の取り組みが紹介されている。これらを参考に、岩手県ではどのような体験型の観光プランが考えられるか200字以内で述べなさい。

問3 課題文2で述べられている、東北地方の外国人観光客獲得への課題や取り組みを3点挙げなさい。

問4 以下の図は、2010年から2016年の訪日外客数と岩手県への外客数の全国比を示したものである。この図から読み取れることを100字以内で答えなさい。

図 訪日外客数と岩手県への外客数の全国比



注1) 訪日外客数とは、外国人正規入国者のうちから日本に永続的に居住する外国人を除いたもの。

注2) 岩手県への外客数の全国比は、訪日外客数に対する岩手県内への外国人延べ宿泊者数(従業員数10人以上の施設)の比率。

(岩手県「平成28年版岩手県観光統計概要」及び日本政府観光局HP統計(https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html)より作成)

問5 課題文1と課題文2の内容を踏まえ、東北、特に岩手県が外国人観光客誘致のために何をすべきか、あなたの考えを600字以内で述べなさい。